



ぜんこくのうきょうぎょうどうくみあいちゅうおうかいちようしよう
全国農業協同組合中央会会長賞

けいたろううずし、かいてん

にいがたけんじょうえつしりつやまと
新潟県上越市立大和小学校二年

みずたにけいたろう
水谷 桂太郎

「まだたべてるの?」

「ちつともすすんでいない。ふりかけかけてたべる?」

朝ごはんのとき、ママはいつもかおをしかめてぼくにいます。朝はじかんがないから、みんなてんでこまいなのです。ぼくは、いつもごはんをたべるのがおそいので、さいごふりかけやごましお、のりをまいておわりにするのです。

ぼくは、ごはんがとくべつきらいなわけではないのです。おにぎりやまぜごはんなど大すきなんです。学校からかえってつくってもらうみそおにぎりもおいしいのです。

このあいだ、ぼくがおねがいして手まきずしのこんだてのときがありました。ママが、「いいねえ、こんやはけいたろううずし、かいてんしてもらおうか。」

とすぐきまりました。ぼくはすごくハッスルして、ぼくのほうちようでざいりようをきりました。ちよつとごちゃごちゃになったけど。すいはんきのブザーがなってふたをあけてみました。白いごはんがピカピカひかっています。たきたてのいいにおいもしました。マグロやサーモン、イカのまえにすわって、

「いらつしやい、ごちゆうもんは?」
というと、パパが、

「ツナマヨコーンを一つ。」

といました。ぼくは、のりにごはんをのせて、ざいりようをのせて、くるつとまいて、

「おまちどお。」

とわたしました。あおいもマグロやきゅうりをちゆうもんしました。つぎつぎとちゆうもんがくるので、ぼくはあせびつしよりです。

「ぼくのたべるじかんがないよう。」

といったら、パパが、

「ちよつと休もうか、こんどおやかたどうぞ。」
といったので、みんな大わらいました。

こんやは、ごはんがすすみました。どんどんたべられて、ちよつといい気分でした。